

2021年2月10日

各位

会社名 株式会社ハウスドゥ

代表者名 代表取締役社長 CEO 安藤 正弘

(コード: 3457 東証第一部)

問合せ先 専務取締役 CFO 富田 数明

(TEL. 03-5220-7230)

中期経営計画の修正に関するお知らせ

当社は、2021年2月10日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、2019年8月13日に公表いたしました2022年6月期を最終年度とする中期経営計画を下記の通り修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 中期経営計画業績目標の修正

2022年6月期 通期業績予想の修正

(百万円)	2022年6月期 当初計画	2022年6月期 修正計画
売上高	43,761	38,150 ～41,400
営業利益	4,766	3,054 ～3,754
経常利益	4,500	2,800 ～3,500
当期純利益	2,970	1,848 ～2,310
経常利益率	10.3%	7.3% ～8.5%

2. 修正の理由

当社グループは、2022年6月期を最終年度とする中期経営計画において、成長強化事業としてストック型収益の基盤となるフランチャイズ事業に加え、仕入契約件数の増加と資産流動化によるファンドへの売却で飛躍的に収益が拡大したハウス・リースバック事業を中心に、次なるストック型収益の柱として今後の拡大を見込むリバースモーゲージ保証事業に注力し、成長事業への人材・広告等への投資は継続しつ

つ、これまでに培った基盤を活かした持続的成長モデルの構築と業績の拡大に努めてまいりました。しかしながら、2020年6月期第3四半期以降の新型コロナウイルス感染拡大の影響による国内外の景気減速による需要の縮小や移動制限による営業活動等の制約が生じ、さまざまな面で当社グループの営業活動にも支障をきたしました。昨年5月の緊急事態宣言解除以降、足元の業績は徐々に回復し、住宅ローンの超低金利継続により実需も底堅く推移しており、中期経営計画の基本方針に変更はございませんが、今後の成長ドライバーであるリバースモーゲージ保証事業において金融機関のコロナ関連融資対応により提携や新規取組が一時的に停滞したことやコロナ禍の各事業への影響の余波並びに外部環境の変化、事業環境の変化に対応できる強固な基盤を確立するための人材・広告宣伝への投資及びシステム関連等の様々な面での先行投資等を総合的に勘案し、中期経営計画の目標数値を修正いたしました。

(注) 本資料の業績予想並びに将来の計画については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

<本件に関する問い合わせ先>

経営戦略本部 経営企画部 広報・IR 03-5220-7230

以上